

広島市植物公園

見どころ案内

ハナナズナ (アブラナ科)

広島県と対馬、朝鮮半島、中国東部に分布するそうです。昔は、畑の雑草として知られるくらい生えていたと聞きますが、今、広島県では絶滅が危惧されています。ロックガーデンでは、あちこちで自由にのびのびと繁殖しています。

ヒガンバナ (ヒガンバナ科)

9月21日現在、花の進化園では満開です。日本庭園前うらら池周辺は散り始め、あずまや周辺は咲き始めです。黄色い花はショウキズイセンです。白い花のシロバナマンジュシャゲはコヒガンバナとショウキズイセンの交雑種と言われています。

アリストロキア・ギガンティア (ウマノスズクサ科)

大温室のスイレン温室への出口に、ぶら下がっています。白っぽい袋状のものがつぼみ、ココア色のあみ目もよのしわくちやのハンカチのようなものが花です。

特別企画展 蘭花譜展

9月14日(土)～12月23日(月・祝)

展示資料館1階展示室にて開催

1946年につくられた104枚の蘭の図譜が見られます。そのうちの浮世絵の木版画の技法で印刷された、芸術的にも価値のある83枚を前・中・後期に分けて展示しています。

(デジタル映像で104枚すべてを展示中)

※ 10月17日まで前期 展示中!

中期 10/19～ 後期 11/23～

ミヤギノハギ 宮城野萩 (マメ科)

宮城県の県花ですが、中部地方以北の日本海側に自生するケハギから作られたといわれています。花序の大きさや枝垂れる姿の美しさから、宮城県の萩の名所、宮城野の名がつけました。原種のケハギは、萩の野生種の中で花が一番大きいとされています。

マルバハギ 丸葉萩 (マメ科)

本州、四国、九州と朝鮮半島、中国に分布する萩です。葉が丸く、時に先がへこんでいます。花の柄が短くて枝にかたまってついています。

ヤマハギ (マメ科)

別名エゾヤマハギ。日本中の山でふつうに見られる萩です。朝鮮半島、中国などにも自生しています。花の柄はマルバハギよりも長く、優雅な感じですが。

オオモクゲンジ

(ムクロジ科)

中国原産の落葉高木です。展望塔のそばに植えられています。満開になったので、イベント広場から黄色い花がよく見えます。近くで見ると、展望塔の屋上から一番!

どんぐり拾いはここ! (ブナ科)

大きいどんぐりはクヌギ、アベマキ、小さいのはコナラです。先日の風で落ちた、まだ緑色のどんぐりはナラガシワです。ここにはほかにカシワとミズナラがありますが、どんぐりはまだ落ちていないようです。

